

小中連携による外国語活動（小牧地区）

1 桃花台地区の紹介（桃陵中・桃ヶ丘小・大城小の学区）

(1) 各校の様子

ア 桃ヶ丘小学校

昭和51年の開校で、今年で創立32年となった。桃花台地区に建てられた第1番目の小学校である。児童数のピークは昭和59年度の1,200名（30クラス）であったが、現在の在籍数はその半分となっている。現在の大きな特徴は外国籍児童数（主にブラジル、ペルー、ボリビア）が小牧市で一番多いことで、75名を超えており、ここ2、3年は年に10名近くの外国籍児童が転入してくる。それぞれの学級には必ず数名の外国籍の児童がいて、休み時間にはポルトガル語やスペイン語の会話が聞かれる。通学団によっては全員が外国籍の班もある。

児童は子供らしい幼さがあり、英語活動の最初に取り入れている”Song time”では高学年でも楽しく歌うことができる。また、”Activity time”でのゲームにも夢中になって取り組んでいる。他校での指導の経験もあるALTのピーター先生によると「桃小の子はととても乗りがよい」とのことである。

イ 大城小学校

平成2年の開校で、現在19年目の桃花台地区の中では一番新しい小学校である。開校当時は児童数383名であったが、徐々に増加して、平成8年度から平成16年度までは1,000人を超え、ピーク時は平成9年度の1,099名であった。平成17年度以降は減少傾向にあり、今年度の児童数は719名であるが、外国籍の児童は年々増加しており、今年度は約60名が通っている。

ウ 桃陵中学校

昭和57年に開校し、今年で創立27周年になる。桃ヶ丘小学校、大城小学校、^{すえ}陶小学校の3つの小学校を卒業した生徒たちが入学してくる。学級数は1、2、3年ともそれぞれ6学級、特別支援学級が2学級の計20学級、生徒数は10月末現在653名で、市内に9校ある中学校の中で2番目に生徒数が多い学校である。その中でも外国籍の生徒は現在26名が在籍しており、5年後には40名を超え、さらに今後増えていく傾向にあると思われる。

<平成20年度 5月の児童生徒数等>

学 校	児童生徒数	学 級 数								そ の 他
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計	
桃ヶ丘小	580名	3	3	3	3	3	3	2	20	全児童が桃陵中へ
		88	105	96	101	97	93	(5)		
大 城 小	719名	4	3	3	4	4	4	2	24	約8割が桃陵中へ
		108	93	106	138	133	141	(9)		
桃 陵 中	652名	6	6	6				2	20	桃ヶ丘小・大城小・陶小から入学
		205	229	218				(8)		

2 英語活動への取組

(1) 桃ヶ丘小学校の英語活動

ア 小牧市の英語活動拠点校として

平成19年度4月、文部科学省より「小学校における英語活動等、国際理解活動推進事業」の2年間の研究委嘱を受け、「小学校の英語活動をどう実践していくか」の研究を進めている。

小学校の英語活動のねらいは、英語に対する興味・関心をもたせ、外国の人や文化にかかわろうとするときの手段の1つとして、英語を意欲的に活用する態度を育成することにある。そのために「どうすれば英語に慣れ親しむことができるか」「どんな英語活動であれば楽しんで取り組めるか」を研究の核ととらえ、研究主題を「自分を進んで表現することができる児童の育成」と題し、その主題に迫るために、ALTや協力員との一層の連携、ALT主導の英語活動と学級担任主導の英語活動との相互関係、協力員の役割や学級担任との連携などに視点を置き、小牧市の拠点校として他校でも活用できる研究実践に取り組んでいる。

イ 年間計画

<授業時数>

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
19年度	15 (10)	15 (9)	35 (15)	35 (15)	35 (14)	35 (15)
20年度	10 (5)	10 (5)	20 (10)	20 (10)	35 (17)	35 (17)

※ () 内は学級担任T1・協力員T2で行う授業数、残りの時間はALTがT1・学級担任がT2で行う授業

英語活動年間活動計画一覧表

(第5学年)

月	題材名	言語材料		時
		語彙	基本フレーズ等	
4	はじめまして	・great ・good ・OK ・terrible ・sleepy ・sick ・thirsty ・tired ・not so good ・spring ・summer ・fall ・winter	・How are you ? ・I'm (気持ち). ・What season do you like? ・I like (季節) .	3
5	誕生日はいつ	・January ・February ・March ・April ・May ・June ・July ・August ・September ・October ・November ・December	・When's your birthday? ・It's in (月).	2
	今何時 60までの数	・1 ・2 ・3 ・4 ・5 ・6 ・7 ・8 ・9 ・10 ・11 ・12 ・13 ・14 ・15 ・16 ・17 ・18 ・19 ・20 ・21 ・22 ・23 ・24 ・25 ・26 ・27 ・28 ・29 ・30 ・31 ・35 ・40 ・45 ・50 ・55 ・60	・What time is it? ・It's (時刻) .	2

月	題 材 名	言 語	材 料	時
		語 彙	基本フレーズ等	
6	復習をしよう	「はじめまして」「誕生日はいつ」「今何時」「60までの数」の復習		2
	時間割表を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・art ・English ・Japanese ・music ・P.E. ・science ・social studies ・math ・recess ・after school ・cleaning time ・lunch time 	<ul style="list-style-type: none"> ・What subject do you like? ・I like (教科). ・What time is(教科) ? ・It's (時刻) 	2
7	学校を案内しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・school ・classroom ・gym ・teacher's room ・music room ・cooking room ・science room ・playground ・nurse's room ・library ・eraser ・blackboard ・notebook ・paper 	<ul style="list-style-type: none"> ・Where's the teacher ? ・In the(部屋の名前) . ・Where's the (物の名前) ? 	2
9	復習をしよう	「時間割表を作ろう」「学校を案内しよう」の復習		2
	学校にある物は	<ul style="list-style-type: none"> ・book ・blackboard ・notebook ・eraser ・paper ・pen ・glove ・pencil ・pencil case ・cards ・in ・on ・under ・behind ・by ・in front of 	<ul style="list-style-type: none"> ・Where's the(pen)? ・It's (under)the notebook. 	2
10	どこにある	<ul style="list-style-type: none"> "school rooms" "school things" "my things" ・door ・window ・lockers ・file ・box 	<ul style="list-style-type: none"> ・Where's my(pen)? ・It's in the(pencil case). 	2
	外国の文化を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・throw ・catch ・drop ・bounce ・bowl ・kick ・inside ・outside ・out ・safe ・deal ・swap 	<ul style="list-style-type: none"> ・Turn over ・One more please ・How many ? 	1
11	復習をしよう	「学校にある物は」「どこにある」「外国の文化を知ろう」の復習		1
	今日の給食はなに	<ul style="list-style-type: none"> ・days of the week ・bread ・rice ・dessert ・fish ・fruit ・meat ・milk ・miso soup ・vegetables ・breakfast ・lunch ・dinner 	<ul style="list-style-type: none"> ・What's for(lunch)? ・It's (meat). 	2
12	放課後にすることは	<ul style="list-style-type: none"> ・go home ・listen to music ・play(TV games) ・play(sport) ・play(with my friends) ・go home ・study ・watch TV ・read ・sleep ・ride a bicycle ・play the piano 	<ul style="list-style-type: none"> ・What do you do after school? ・I go home and (play TV games). 	2
	メリークリスマス	<ul style="list-style-type: none"> ・present ・Christmas tree ・reindeer ・Santa Claus ・sleigh ・decorations ・stocking ・snowman ・star ・toys ・chimney ・cookies ・candle 	<ul style="list-style-type: none"> ・I want a (物の名前). 	1
1	復習をしよう	「今日の給食はなに」「放課後にすることは」の復習		3
2	劇をしよう	既習内容を使った劇をする		4
3	劇をしよう	既習内容を使った劇をする		1

題 材 Numbers 1-60 - What time is it ? -

指導の力点

言い慣れていないため、発音に自信がない「11」「12」、言い間違えたり、聞き取りにくかったりする「15」と「50」は、カードを掲示しながらT2の発音を何度も聞かせ、繰り返し発音させることで覚えさせたい。“What time is it ?”“It's (12:25)”は、一人一人が話す機会を多くもてる2つのゲームを通して慣れ親しませ、その中で互いに聞き合う楽しい雰囲気をつくって、活動のねらいを達成させたい。

活動過程

学 習 活 動	T1(HRT)・T2(VT) の 活 動	評 価
<p>1 Hello time</p> <p>あいさつをする。</p> <p>全員：Stand up ! It's English time. Good afternoon , Horiyama sensei and Akao sensei.</p> <p>T1 : Good afternoon everyone. T2 : Good afternoon everyone. T2 : How are you ? 全員 : I'm great / good / OK/ not so good . T2 : Oh no ! What's up ? not so good の児童 : I'm sleepy / terrible / tired / sick .</p> <p>全員 : How are you ? T1T2 : I'm great / good / OK / not so good .</p>	<p>T1 : Please come in. T2 : 教室に入る。</p>	<p>大きな声を出しているか。(観察)</p>
<p>2 Song time</p> <p>「Numbers」の歌を歌う。</p>	<p>T1 : Let's sing a song! ・数字カードを掲示する。 ・CDをかける。 T1・T2 → いっしょに歌う。</p>	<p>大きな声を出しているか。(観察)</p>
<p>3 Today's aim</p> <p>本時の活動の目当てを知る。</p>	<p>T2 : The aim of today's lesson is 「What time is it ?」. T1 : 今日の目当ては。</p>	<p>注意して聞いているか。(観察)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>What time is it ? 時刻を聞いたり答えたりしよう。</p> </div>		
<p>4 Practice time</p> <p>Numbers 0 1 ~ 12 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60</p>	<p>T2 : Let's practice numbers! T1 : 数字の練習をしましょう。 Listen carefully. T2 : Repeat after me. ・T2 → 発音する。 ・T1 → カードを掲示する。</p>	<p>大きな声を出しているか。(観察)</p>
<p>5 Activity time</p> <p>Karuta (1) 先生と代表児童の Skit を見て、ゲームの仕方を理解する。</p>	<p>T1 : Let's play 'Karuta'. Listen carefully. ・代表の児童2名を前に出す。 T2 : Spread the cards on the desk. Hands on your head. What time is it ? It's 12:25. T1 : Ready steady go! T2 : Touch the card. It's your card. ・T1 → 日本語で説明</p>	<p>注意して聞いているか。(観察)</p>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4人(5人)グループをつくり、配られたカードを机上に並べる。 ・ 全員頭の上に手を置いて、“What time is it ?”と聞く。 ・ T2が“It's ~.”と答えるのでその答えに合うカードを取り合う。 </div>		

学 習 活 動	T1 (HRT) ・ T2 (VT) の 活 動	評 価
(2) ゲームをする。	T1 : Make groups of 4. T1 : Hands on your head. 全 : What time is it ? T2 : It's ~. ・ 伝言ゲームに使う時刻を中心に言う。 ・ カードが少なくなるまで続ける。 T2 : Count your cards. T1 : 取れたカードの数を数えましょう。 全 : 1, 2, 3 . . .	いろいろな数字に慣れることができたか。 (観察)
6 Practice time 時刻の聞き方と答え方の練習をする。 ・ What time is it ? ・ It's (12:25).	T2 : Let's practice the Time! T1 : 時刻の聞き方や答え方を練習しましょう。 Listen carefully. T2 : Repeat after me. ・ T2 →発音する。 ・ T1 →カードを掲示する。 ・ T1 →時計を掲示し、針を示す。 ・ T1 →体で針をつくる。	時刻の聞き方や答え方になれることができたか。(観察)
7 Activity time Gesture-Row race (1) ゲームの仕方を理解する。	T1 : Let's play 'Gesture-Row race'. Listen carefully. T2 →英語で説明する。 T1 →日本語で説明する。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ T1 が 1 番後ろの席に時刻が書かれたカードを配る。 ・ 後ろから 2 番目の児童は、後ろの児童に "What time is it ?" と聞く。 ・ 聞かれた児童は "It's ~." でカードに書かれた時刻を答える。 ・ 同じ方法でカードの時刻を前へ伝言して送っていく。 ・ 列の 1 番前の児童は、伝言された時刻の針を体でつくって示す。 		
(2) ゲームをする。	・ 縦の列で行う。 ・ 様子をみながら、2～3回行う。 T2 →伝言する時刻を知らせる。 T1 →ジャッジをする。 T1T2 →上手に発音できない児童の支援をする。	ゲームを通して時刻を答えることができたか。 (観察)
8 Comment time (1) 今日の学習を振り返り、振り返りカードに記入する。 (2) 発表する。	T2 : Write your feedback card. T1 : 振り返りカードに、今日の目当てに対して自分が頑張ったことを書きましよう。 T2 : Finish! Put your pen on the desk. What did you write ? Please say yes! T1 : 発表しましょう。 T1T2 : Good job!	習った英語を使って楽しくコミュニケーションをとることができたか。(振り返りカード・発表)
9 Good-bye time あいさつをする。 全員 : Stand up. Thank you Horiyama sensei and Akao sensei. See you next time. T 1 ・ T 2 : Thank you everyone. T 2 : See you next time.		

* HRTは学級担任、VTは補助員を表す

(2) 大城小学校の英語活動

ア 英語活動の実際

大城小学校では、1, 2年生が年間3時間、3～6年生は年間19時間の英語活動を行っており、基本的にはALT主導で、協力員と学級担任が活動と一緒にいるティーム・ティーチングで行っている。内容としては、「歌やゲームなど英語に親しむ活動」「簡単なあいさつや自己紹介の練習」「単語の発音練習」など、ALTが所属する民間英語講師派遣会社のカリキュラムを基に活動を行っている。

今年度、「小中連携による外国語活動の在り方に関する研究」に参加することになり、拠点校である桃ヶ丘小学校の英語活動を参考にし、9月からは6年生で、ALT訪問時以外にも学級担任が主となる英語活動を行っている。他の学年についても、12月までに学級担任主導の英語活動を、各クラスで行う予定である。

学級担任主導の授業を行う場合、その直前に行ったALTの授業の復習になるようにしているが、同じ活動の繰り返しにならないように、ゲーム等に工夫を施して行っている。

イ 年間計画

月	題 材 名	
	5 年 生	6 年 生
4	Nice to see you again. (greetings / seasons)	This is my friend... (greetings / introducing a friend)
5	It's my birthday. (months of the year)	My family (family / third person / tense)
6	Let's count to 100. (numbers 1-100 / time)	He likes pizza, too. (third person / verbs)
7	It's English time! (school subjects)	Where is he from ? (countries of the world)
9	It's in the science room. (school rooms)	I live in Japan. (around Japan)
10	Happy Halloween (Halloween)	Trick or Treat! (Halloween)
11	It's on the desk. (school things / prepositions)	Around the world (around the world / languages)
12	Merry Christmas (Christmas)	Merry Christmas (Christmas)
1	What's for lunch ? (school lunch)	This is me. (review / final self introduction)
2	What do you do ? (after school)	This is me, again. (review / final self introduction)
3	Review (final review)	Review (final review)

学 習 活 動	T1 (HRT)・T2 (VT) の活動
<p>1 Hello time 先生と始まりのあいさつをする。 日直:Stand up. Good morning. 全員:Good morning. 日直:How are you? 全員:How are you? 全員:I'm great / good / sleepy / tired / sick.</p>	<p>T1: Let's start. T1: Good morning, everyone. T2: Good morning, everyone. T1: I'm OK. T2: I'm good. How are you?</p>
<p>2 Question time (1) 質問に答える。 児童:It's Thursday. 児童:It's (sunny / cloudy /rainy.) (2) Cross game ①ゲームの仕方を理解する。 ②ゲームをする。</p>	<p>T1:What day is today? T2:How is the weather today? T1:Let's play Cross game. This line, stand up please. T2:What is this? ・挙手をして答えられたら座る。 ・最後に残った児童がいる横列の児童が立つ</p>
<p>3 Today's aim 本時の活動の目当てを知る。</p>	<p>T1:The aim of today's lesson is Halloween.</p>
<p>4 Practice time Halloween Jack o'lantern / vampire / witch / bat / mummy / trick or treat.</p>	<p>T2:Let's practice Halloween words. T1:ハロウィーンに出てくる単語の練習をしましょう。 T2:Repeat after me. ・T2=発音をする。・T1=カードを掲示する。</p>
<p>5 Activity time (1) Cross game ①ゲームをする。 (2) Jeopardy game ①ゲームの仕方を理解する。 ②ゲームをする。 児童:I want ___ for ___.</p>	<p>T1:Let's play Cross game. This line, stand up please. T2:What is this? T1:Next game is Jeopardy game. Make 6 groups. ・サイコロを振り、出た数字の班が答える。 ・班で問題を選び、答えると点数がもらえ、答えられなければ他の班が答えられる。 T1T2:発音が苦手な児童への支援をする。</p>
<p>6 Comment time (1) 今日の学習を振り返り、振り返りカードに記入をする。 (2) 発表する。</p>	<p>T2:Write your feedback card. T1:振り返りカードに、今日の目当てに対し自分が頑張ったことを書きましょう。 T2:Finish. Put your pen on the desk. What did you write? T1:書いたことを発表しましょう。 T1T2:You did a good job!</p>
<p>7 Good-bye time 先生と終わりのあいさつをする。 全員:Stand up. 日直:Thank you very much. 全員:Thank you very much. 日直:See you next time. 全員:See you next time. Bye-bye.</p>	<p>T1:Stand up. T1T2:Thank you, everyone. T2:See you next time. Bye-bye.</p>

* HRTは学級担任、VTは補助員を表す

3 連携への取組

(1) 連携会議の開催

ア 第1回小中連携会議（6月19日）

「第1回小中連携による外国語活動の在り方に関する研究の研究協力校連絡会」（総合教育センター5月30日開催）での提案を受け、桃陵中学区3校（桃陵中学校・桃ヶ丘小学校・大城小学校）の第1回小中連携会議を6月19日に開催した（参加者は各校の校長・教務・英語教員の計8名）。この会議では総合教育センターからの提案事項（下記）を基に、その時点で可能と思われる英語活動の連携につながる具体策を検討した。



写真1 第1回小中連携会議の様子

「総合教育センターからの提案」

- ・ 互いの英語活動の教授法を理解し合うために、月に1度の小中連携会議を開催する。
- ・ 互いに授業を参観する機会をつくり、さらに授業後に研修会などを併せて開催する。
- ・ 市の教科指導員やその他の指導的な立場の先生を招いた研修会等を合同でもつ。
- ・ 各学校の教材、授業を記録した写真や動画等を共有できるシステムをつくる。
- ・ 児童・生徒の個のカルテを作成し、次の学年へ引き継ぐ一貫した英語教育の実現を図る。
- ・ 小中連携の研究を進めるに当たっての現状の把握及び研究成果の変容を見るために、児童生徒並びに教員に対してアンケートを実施する。

○ 今年度の方向性

第1回小中連携会議において、確認された事は、「文部科学省の研究委嘱を受け、昨年度から英語活動に取り組んでいる桃ヶ丘小とまだほとんど始まっていない大城小との間には、英語活動への取組に大きな差があること」であった。併せて、「桃陵中の英語担当教員には小学校の英語活動について、しっかりとしたイメージがないこと」も分かった。

また、総合教育センターからの提案に関する検討においても問題点が挙がった。第一に、合同の授業参観やその後の研修会等の設定が難しいということである。この時点では3校とも現職教育計画は進んでおり、新たに研修会等を実施することは困難であった。第二に、英語活動はまだ始動の段階であり、現状として児童個々のカルテを作成し、ポートフォリオ型評価の継続は困難との結論となった。

そこで、小学校2校と中学校1校の連携のスタートとしては、桃ヶ丘小の現時点の英語活動パターンを基本として考えていくことを確認し、その上で、できることから進めていくこととなり、以下のように取組を開始することとした。

- ・ 大城小と桃陵中英語教員の時間を調整し、桃ヶ丘小の日常の英語活動の授業参観を実施する。
- ・ 授業参観後に感想等を集約し記録する。
- ・ 桃ヶ丘小の授業研究計画を2校に伝え、研究授業への参観を行う。
- ・ 大城小英語活動の参観は準備ができ次第（2学期中盤以降より）開始する。ただし、学級担

任主導による英語活動がまだ開始されていないのが現状なので、3学期以降になることもやむを得ずとする。

- ・ 桃ヶ丘小の「英語活動レッスン・プラン」「使用している主なクラスルーム・イングリッシュ例」を2校に伝え、特に、大城小はそれを基にした英語活動を進めていく。
- ・ 桃ヶ丘小で使用している教材を紹介していく。
- ・ 桃陵中では小学校英語活動の現状をつかみ、中1の英語指導の在り方を検討する。
- ・ 小学校2校の英語活動を進めるに当たって、桃陵中の英語教員からの助言を受ける。

イ 第2回小中連携会議（10月30日）

第2回小中連携会議（参加者は各校の校長・教務・英語教員の計8名）では6月からの実践についての意見交換、まとめ、各校の現状報告、これからの進め方についての検討を行った。

その中で、今後も互いの授業参観をできるだけ行くこと（特に桃陵中英語教員の小学校参観）、来年度には互いの研究協議会へも参加できるような日程調整をしていくこと等が話題となった。



写真2 第2回小中連携会議の様子

(2) 授業参観の実施

ア 桃ヶ丘小の英語活動授業の参観

- ① 5月31日（土）学校公開日（1・2校時 4の1で学級担任と協力員のTT, 6の2で学級担任）

大城小から1名参観

- ② 6月5日（木）学校訪問（5校時 特設授業 5の3 3の1）

英語活動特設授業 5年3組（学級担任と協力員のTT）

題 材 Numbers 1～12, 60までの5跳びの数の言い方に慣れる。
時刻の聞き方, 答え方に慣れる。

言語教材 Hello. What time is it? It's (12:25).

大城小から3名参観, その他の小学校教員多数参観

(英語活動小牧市拠点校として全市へ公開しているため)



写真3 5の3 授業の様子

- ③ 6月25日（水）通常授業（2校時 6の2で学級担任とALTのTT）
 桃陵中から1名参観



写真4 6の2 授業の様子

- ④ 7月4日（金）通常授業（3校時 5の2で学級担任と協力員のTT）
 大城小から1名参観
- ⑤ 7月14日（月）通常授業（3校時 5の1で学級担任と協力員のTT）
 大城小から2名参観
- ⑥ 7月16日（水）通常授業（3校時 6の3で学級担任と協力員のTT）
 大城小から1名参観
- ⑦ 10月16日（木）研究授業（5校時 5の1で学級担任と協力員のTT）

英語活動研究授業 5年1組（学級担任と協力員のTT）

題 材 School Things / Prepositions 学校で使う物の場所を伝える。

言語教材 Where's the----?
 book, pencil case, pencil, pen, paper, notebook, blackboard,
 eraser, door, desk, window, in, on, under, by, in front of, behind

桃陵中――9名

その他（他校の教員 英語活動小牧市拠点校として全市へ公開している）



写真5 5の1 授業の様子

- ⑧ 11月1日（土）学校公開日（1～3校時 3の3・1の2・5の2で学級担任と協力員のTT）
 大城小から4名参観

イ 桃ヶ丘小への授業参観後の感想（大城小・桃陵中の教員から）

時刻の聞き方、答え方を知る活動では、まず1～60の数字の言い方を練習した。中学生でも間違えやすい15と50などを、児童の発音を聞きながら何度も練習し、きめ細やかな発音の指導がされていることが分かった。担任の先生や協力員の方の指示はほとんど英語で、クラスルーム・イングリッシュも豊富に取り入れられ、児童もきちんと理解していた。授業のテンポは速く、中学校のALTの授業とほとんど変わらない。体を使って時刻を表す活動は、児童も楽しそうに取り組んでおり、英語活動ならではの感じがした。このような活動を行ってきている桃ヶ丘小学校と足並みをそろえるためには、本校ではかなりの研修が必要だと感じた。

（6月5日 大城小）

様々な国名の言い方を学び、自分の出身国を述べる言い方の学習を参観した。ウォームアップではフォニックスをスピーディにリピートしていたが、隙すきを与えないテンポのよさに驚いた。恐らく、これまでに何度も発音練習をしてきているのであろう。また、いろいろな国の「こんにちは」という言い方を提示していた。英語だけでなく、フランス語、ポルトガル語、中国語など多言語・多文化を知り、興味をもたせるような授業であった。今回の授業で扱う言語学習内容は多くはないが、1つの学習事項を様々な角度からの活動によって、繰り返し反復練習しているのが印象的であった。

（6月25日 桃陵中）

全児童が楽しそうに活動している姿を見て、こちらもすがすがしくなった。中学校の場合、ALTとのTTの時には楽しそうに活動できているが、普通の授業では読んだり書いたりする活動も多く、英語がちんぷんかんぷんで拒否反応を示す生徒も少なくない。入試がある関係で楽しい活動ばかりはさせてもらえないのが現状。是非とも、小学校で「英語は楽しいものだ」という考えを植え付けていただき、中学校へ入学させていただけることを期待します。

落ち着いた雰囲気の中で楽しく活動ができていたように思う。先生と児童との関係がうまく取れており、指導も行き届いているのが伝わってきた。授業に関しては子供たちが自由に活動するには教室が狭すぎるように思った。机・椅子等をなくし、床に座って行ってみてはどうか。真ん中に机を1つ置き、そこでいろいろなものを隠したりして活動させると、in front of や behind の感覚が分かりやすいかと思う。by は使える範囲が広いので難しい。絵ではなく実物の方が位置をつかみやすいように感じた。子供たちの発音がとてもきれいなことに感心した。しかし、一方で単語によっては日本語調の発音になっているものもあった。

子供たちが皆、とてもよい表情で生き生き学んでいる姿を見て感心した。絵があり、感覚的に話しているものの、それが今後どれだけ定着するのか、よく分かりません。小学校英語活動が目指すものが何なのか勉強不足で分かりませんが、中学校に入学して、しっかりした知識として理解させなければならなくなった時、どうなるのだろう。中学校としても、英語嫌いをつくらぬよう工夫しなければならないと感じた。

（10月16日 桃陵中）

(3) 小牧市の英語教育推進活動

小牧市では小学校英語の導入に先駆け、平成18年度より「小学校英語教育推進委員会」を立ち上げ、文部科学省の動向を見ながら、市としてどのように取り組んでいくかを検討し、カリキュラムや指導方針の作成などに取り組んでいる。以下に、平成20年度推進委員会の検討内容を簡単に示す。

(平成20年12月現在)

＜平成20年度英語教育推進委員会中間報告（抜粋）＞

1 小学校英語活動の目標

- 国際コミュニケーション力＜共生・自己決定・行動力・個の確立＞の素地づくり
そのために育てたい資質
- ① 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- ② 自分の意思表示ができる。進んで他人の思いや考えを知ろうとする。
- ③ 外国の言語や文化に触れ、日本の文化との違いを認め、理解したり、日本の文化を発信したりすることができる。

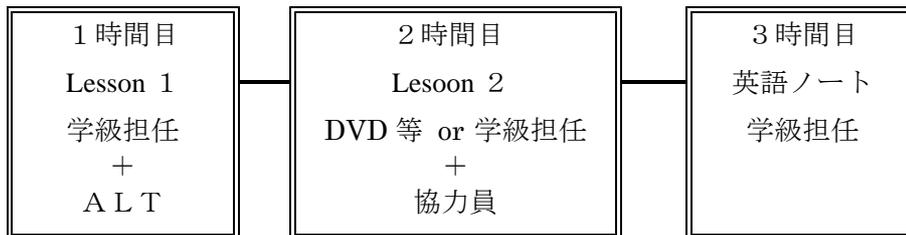
2 カリキュラムの実施

- 5, 6年生から年間35時間で導入。1～4年は各学校の実態に応じる。

3 カリキュラムの流れ

- 民間英語講師派遣会社のカリキュラムの流れを生かした授業を中心に行う。
(ALTがいない時間にはDVD・CDなどの視聴覚教材を使って授業ができるよう準備)

＜各単元（1モジュール3時間＋復習）の流れ例＞



4 一人一人の活動を充実させる児童の活動目標と評価

Evaluation Points ＜評価ポイント＞

Eye Contact	相手の目を見て会話をしよう
Positive Attitude	積極的に伝えよう（表情豊かに、ジェスチャーを使って）
Clear Voice	はっきりした声で伝えよう
Listen and Reply	相手の話をしっかり聞き、相づちを打ったり返事をしたりしよう
Smile	笑顔で会話をしよう

＜振り返り＞

小牧市の目指す学び「仲間とのかかわり」を大切に、共に高めあう学びを成立させるためにも、授業中の相互評価、授業後の振り返りを行っていく。

5 小中の連携・中学校で「もっと英語をやりたい」と思う生徒を育てるために

- ・英語嫌いを作らない
- ・自己表現活動の重視
- ・段階的な文字導入

6 5・6年の各月の単元計画

5 年 生		6 年 生	
4 月	世界の人と伝え合おう (3)	4 月	友達を紹介しよう・文字で遊ぼう (3)
ALT	あいさつの会話をしよう	ALT	今の気持ちを伝え合おう
DVD	季節を使ってインタビューしよう	DVD	友達を紹介しよう
英ノート	世界のこんにちはとジェスチャーを知ろう	英ノート	アルファベットで遊ぼう (大文字)
5 月	自己紹介をしよう (3)	5 月	家族を紹介しよう・文字で遊ぼう (3)
ALT	月の言い方・生まれた月は?	ALT	家族の紹介の仕方は?
DVD	月の言い方・誕生日はいつ	DVD	家族の紹介をしよう
英ノート	自分のことを紹介しよう	英ノート	いろいろな文字があることを知ろう (小文字)
6 月	数で遊ぼう (4)	6 月	友達を紹介しよう・カレンダーを作ろう (4)
ALT	60までの数・今何時?	ALT	自分や友達の持ちものや遊びのことを話そう
DVD	今何時? 100までの数	DVD	友達を紹介しよう
ALT	復習をしよう	ALT	友だちのことをみんなに紹介しよう
英ノート	数で遊ぼう	英ノート	カレンダーを作ろう
7 月	時間割を作ろう (3)	7 月	世界のことを知ろう (3)
ALT	何の教科が好き?	ALT	世界の国とあいさつを知ろう
DVD	英語の時間は何時?	DVD	どこの出身? 教えてあげよう
英ノート	時間割をつくろう	英ノート	復習をしよう
9 月	学校を案内しよう (3)	9 月	日本を紹介しよう (3)
ALT	先生のいる所を教えてあげよう	ALT	日本のものを教えてあげよう
DVD	どの教室にあるか教えてあげよう	DVD	日本のものを英語で教えてあげよう
英ノート	私の持ち物があるところは?	英ノート	日本を紹介しよう
10 月	色々な国のことを知ろう (3)	10 月	道案内をしよう (3)
ALT	いろいろな国の文化は?	ALT	建物やお店の言い方を知ろう
英ノート	いろいろな国の衣装を知ろう	英ノート	方向や動きの言い方を知ろう
英ノート	外来語を知ろう・何が欲しいの?	英ノート	教室で道案内ゲームをしよう
11 月	場所を教えてあげよう (4)	11 月	行ってみたい国を紹介しよう (4)
ALT	どの位置にあるの?	ALT	いろいろな国の有名な場所を紹介しよう
DVD	どこにあるの?	DVD	行ってみたい国の有名な場所を知ろう
ALT	いろいろな教室の言い方を覚えよう	ALT	自分の行ってみたい国のことを紹介しよう
英ノート	クイズ大会をしよう	英ノート	友達の行きたい国のことを知ろう

5 年 生		6 年 生	
1 2 月	探し物はどこ？クリスマス (3)	1 2 月	自分の国をつくろう！ (3)
A L T	オリエンテーリングをしよう	A L T	自分の国をつくろう！
D V D	(復習) 探し物をしよう	D V D	つくった国を紹介し合おう
英ノート	クリスマスを楽しもう	英ノート	自分のつくった国をみんなに紹介しよう
1 月	ランチメニューをつくろう (3)	1 月	劇をしよう (3)
A L T	食べ物の言い方は？	A L T	「大きなかぶ」の物語を聞こう
D V D	今日の給食はなに？	D V D	「大きなかぶ」の劇をしよう
英ノート	ランチメニューをつくろう	英ノート	オリジナル「大きなかぶ」の劇をしよう
2 月	放課後にすることは？ (3)	2 月	自分を紹介しよう (3)
A L T	放課後にすることは？	A L T	自己紹介の準備をしよう
D V D	放課後にすることを教えよう	D V D	自分を紹介しよう
英ノート	復習をしよう	英ノート	自分の1日を紹介しよう
3 月	英語で遊ぼう (3)	3 月	自分の夢を紹介しよう (3)
A L T	劇で使う言葉は？	A L T	いろいろな職業の言い方を知ろう
D V D	劇をしよう	D V D	なりたい職業を尋ねよう
英ノート	英語コミュニケーションすごろく	英ノート	将来の夢を紹介しよう

※ DVDは小牧市が英語活動用に作成中

4 成果と課題

6月(第1回小中連携会議)から小中連携での取組を進めてきたが、小学校での英語活動の授業参観やその進め方についての情報交換を始めたばかりというのが現状である。ここで、これまでの取組について、振り返る。

(1) 小学校間の連携

小学校間での連携では、文部科学省の研究拠点校として平成19年度より学級担任中心での英語活動に取り組んできた桃ヶ丘小と、小牧市より派遣されているA L Tによる授業のみで英語活動を実践してきた大城小とでは、児童・教員ともに意識の差があることは明らかである。その点を踏まえた上で、授業参観の実施など、できることから連携の取組を進めてきた。

大城小では新学習指導要領への移行を視野に入れて、今年度中に学級担任主導での英語活動の基礎づくりに取り組んでいく計画であった。6月の第1回連携会議での話し合いはその計画を始動させる起爆剤となり、その後、桃ヶ丘小の英語活動授業への参観、英語活動部会の設置、クラスルーム・イングリッシュ研修会の実施、学校訪問での英語活動公開授業の設定等、英語活動への取組が進んできている。

桃ヶ丘小では年度当初の計画に従って研究を進めているが、研究授業だけでなく、普段の英語活動

授業の参観もあり、小牧市の英語活動推進の拠点校としての役割の重大さ・重要性を再確認している。大城小との教材等の共有では「桃小レッスン・プラン」（平成19年度の各学年でのすべての授業プラン集）や「クラスルーム・イングリッシュ例」等を提供するにとどまっているが、今後、大城小の英語活動授業の参観が可能になった時点から、より具体的な授業プランの検討を進めることができると考えている。

(2) 小中学校間の連携

小中学校間の連携については、桃ヶ丘小の授業参観を行っただけで、中学校英語教員に小学校英語活動のイメージをつかんでもらう程度になった。授業参観後の感想には「小学校英語の目指すものが何なのか勉強不足で分からない」「Where's が正しく書けていない児童がちらほらいた」といったものが見られた。今後は授業参観を手掛かりとして、小学校で目指す英語活動を中学校英語教員にしっかりととらえてもらうことに重点を置きながら、英語活動の進め方や指導内容、クラスルーム・イングリッシュの活用などの面では中学校英語教員の視点でのアドバイスを受け、指導に役立てていきたいと考えている。また、中学校としても小学校での英語活動の内容やその授業形態を踏まえた指導を進めていきたい。

(3) 小牧市全体での取組

小牧市全体としての取組が本格的に始動しており、「小学校英語教育推進委員会」によって小牧市の英語活動カリキュラムも作成されつつある。また、来年度以降、全市的に進んでいくと思われる小学校英語活動の中にも小中連携にかかわる取組が出てくるとと思われる。今後は桃ヶ丘小と大城小、そして桃陵中との小中連携を継続しながら、全市的な取組とも歩調を合わせていくこととなる。